

復興研究会報告

NO.18(平成29年度 第6号)

発行
岩手県立大槌高等学校
復興研究会・OA部
発行日
平成30年2月14日

安倍総理 with 大臣 来校

12月20日に安倍総理、オリンピック大臣、復興大臣が大槌高校に来校しました。日本の政府の中心の方々が大槌高校にいらしてくれたと考えると大変光栄なことと思えました。また、復興研究会の活動を聞いてくれました。大槌高校の活動を知っていただけてとてもうれしく思います。



NHK「復興サポート」収録参加

これまで私は大槌には高齢者が多いから他の地域から若い人を呼ばなければ発展が難しいと考えていました。しかし、この収録内での話を聞いて高齢者の知識を活用した地域を活性化させる方法を学ぶことができました。(1年女子)

自分が知らない大槌・釜石地区の地域活動を知ることができました。震災後仮設住宅に住む人が多くなり周囲に頼る人がいなくなった高齢者の孤独死が問題となりました。その対策として、地域住民との交流会を増やし、人と人とをつなぐ活動をしていることを知ることができました。(1年男子)



民間団体の方から、孤独死が増加しているといった話を聞き、それを防ぐために1人暮らしの方を地域行事に誘っていると知って、震災の影響が様々なところに及んでいることを知りました。(1年女子)

大槌町では1人暮らしで引きこもりがちな方々を誘い、農園を作ったということを知ることができました。

(1年女子)

大槌だけでなく釜石の復興後の様々な活動を知ることができ、今までと違う貴重な体験をすることができま

した。(1年男子)



鎮魂の森 現地説明会

少しずつ町が復興している様子を肌で感じる事ができた。(3年男子)

鎮魂の森ができる場所に行って視察し、町役場の方々の話を聞きながら将来の町の姿を想像して聞くことができた。(3年女子)

校内のワークショップとは少し異なり、昔を懐かしみつつ未来の話ができ、改めて町づくりには多くの年代の方が参加するべきだと思った。(3年女子)

実際に現地に行くことで、どのようになるかイメージしやすく、町役場の方が丁寧に説明をしてくれたので、とてもわかりやすかった。(3年女子)